

令和5年度 事業報告書
令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

学校法人佐山学園

1. 今年度の総括

ポストコロナに柔軟に対応すべく、学園全体としての指導方針における改革を行った。専門知識・技術に修得だけではなく、現代の若者に「必要とされながらも不足しがちな」社会性や人間力の育成に注力し、卒業生の受け入れ先となる企業のリクエストに応えられる人材育成にシフトできたと捉えている。

2. 各事業の概要

(1) 学園事業

- ① 卒入学式の開催
- ② 学校関係者評価委員会の実施
- ③ 理事会の実施

(2) オープンキャンパス事業

本学園の魅力を余すことなく入学希望者へ伝えるために、内容を充実させた結果、令和6年度の学生の在籍数は過去最高をマークした。今後ますますの向上を図る。

(3) 学校行事の再開

新型コロナウイルスの影響により中止や延期を余儀なくされた各種イベントを再開した。

(4) オンラインオープンキャンパスの開催

新型コロナウイルスを機に取り入れたオンラインオープンキャンパスは、遠方から進学を検討する生徒・保護者に向けて進学情報を発信するツールとして継続した。

3. 学園運営状況の概要

- (1) 学生・教員に関する事項 HP上に掲載
- (2) 財政に関する事項 HP上に掲載

4. 今年度の成果と次年度の課題

(1) 今年度の成果

他校との差別化をより鮮明なものとしたことで、定員充足率の向上に繋げることができた。

(2) 次年度の課題

アフターコロナの時代においては、知識・技術に加え、人間的な素地の開発にも力を入れる必要があると考える。昨年度より始まった教育改革をもとに、教育内容をより質の高いものへとブラッシュアップしたい。